

WILL生産管理ソフト Ver7 導入要件/推奨ハード 説明書

世界のお客様にモノづくり視点による全工程のソリューションを提供し新たな板金市場を創造する

— 第20版 —

2026年8月21日

(株)アマダ
(株)ケーブルソフトウェア

ハードウェア要件

(1/3)

項目		データサーバ用			アプリ サーバ用	クライアント用 (進捗端末含む)
		クライアント 20台以上 または iP進捗あり (※6)	クライアント 10～20台 (※5)	クライアント 10台未満		
CPU		Pentium以上 (推奨Xeon相当)	Pentium以上 (推奨Xeon相当)	Core i3以上 (推奨Core i5以上)	Core i3以上 (推奨Core i5以上)	Core i3以上 (推奨Core i5以上)
メモリ(※2)		16GB以上 (推奨32GB以上)	8GB以上 (推奨16GB以上)	8GB以上 (推奨16GB以上)	8GB以上 (推奨16GB以上)	8GB以上 (推奨16GB以上)
ハードディスク		100GB以上 の空き	100GB以上 の空き	100GB以上 の空き	100GB以上 の空き	100GB以上 の空き
OS (※1)	Win11 Home 64ビット	×	×	×	○	○
	Win11 Pro 64ビット	×	△	◎	◎	◎
	WinSvr2016 64ビット WinSvr2019 64ビット WinSvr2022 64ビット WinSvr2025 64ビット (※3)(※4)	◎	◎	○	○	△

(補足)

Core ……インテル Core i3/5/7/9プロセッサ相当を指します。デスクトップPCやノートPC向けに設計されたプロセッサです。性能は低い順から i3 < i5 < i7 < i9 となります。

Xeon ……インテル Xeonプロセッサ相当を指します。サーバーやワークステーション向けに設計されたプロセッサです。

Pentium ……インテル Pentiumプロセッサ相当を指します。性能は低い順から Celeron < Pentium < Xeon となります。

ハードウェア要件

(※1) Win95/98/ME/XP/Vista/7/8/8.1/10およびWinSvrNT4.0/2000/2003/2008/2008R2/2012/2012R2は「MicroSoftサポート終了製品」なのでここから除外します。

(※2) 実装メモリはOSやSQL Serverによって異なる為、下記を参考にしてください。

(データサーバ)

- ・最強の構成は、最新世代のXeonプロセッサとメモリ32GB以上を搭載したハードウェアに WinSvr2016 (64ビット)以降とSQL Server製品版(2017以降)を搭載したコンピュータです。

- ・ SQL Server 製品版(64bit)を推奨

無償版は、SQL Server使用メモリが1GBに制限される為、メモリを大量に搭載していても利用されません。

(アプリサーバ・クライアント)

- ・Win11の場合、メモリ8GB以上(推奨16GB以上)。

(※3) サーバOSの場合、通常は標準で5台分のCAL(クライアントアクセスライセンス)が付いています。クライアント接続台数が5台を超える場合、CAL(5台毎:30千円前後)を追加購入する必要があります。

(※4) サーバOSは、「Datacenter」、「Standard」の2エディションが販売されていますが、弊社では「Standard」のみ動作確認しております。「Standard」エディションのご購入をお勧めします。

(※5) Win11は20台を超えるクライアントを接続することが出来ません。近い将来クライアント接続台数が20台を超える可能性があれば、最初からサーバOSのコンピュータをご導入頂くことをお勧めします。

ここでいう20台は、IP進捗端末(iphone・ipad・ipodTouch)やWeb進捗端末(カシオ製ハンディターミナル)なども含む合計のクライアント接続台数です。(オフライン進捗端末数はカウントしません)

(※6) 「iP進捗」と記載していますが、iP台帳ビューワ、iP画像ビューワ、iPタスクビューワ、Web進捗も含みます。

【パソコン購入上の注意点】

(1) MS Office付パソコン(MS Officeプリインストール版)は注意が必要

過去に「Microsoft 365 Access ランタイム をインストールしたら、プリインストールのOfficeが消えた」という事象が発生しました。復旧には、MS Officeの再インストールが必要ですが、「マイクロソフトアカウント」に紐付けていなかったため再インストールもできませんでした。

この問題を防ぐには、購入直後のMS Office初回起動時に「マイクロソフトアカウント」に紐付けておく必要があります。

この紐付けさえやっておけば、仮にMS Officeが消えても再インストールが可能です。

ソフトウェア要件

項目	サーバ用		クライアント用 (進捗端末含む)
	データサーバ用	アプリサーバ用(編集用)	
Access	—	Access 2021以降 製品版 (※2)(※5)(※7) …有償	Access 2021以降 ランタイム版 (※2)(※5)(※6) …無償
SQL Server	SQL Server 2017以降 Express(無償版)または Standard(製品版) (※1)(※3)(※4)	—	—
備考	Express(無償版)は、WILL生産管理用インストールDVDに同梱されています。使用可能メモリが1GBという制限がある為に「データやクライアントが増えるとスピードが遅くなる」が弱点です。「スピード改善」は、コンピュータの実装メモリの追加(16GB以上)およびStandard(製品版)の導入をお勧めします。	Access製品版は、お客様にて調達して頂きます。	Accessランタイム版はWILL生産管理用インストールDVDに同梱されています。

(※1) 他のアプリケーション用にSQL Serverが導入されているコンピュータにWILLデータサーバの同居はお勧めしません。

(※2) Microsoft Office (Access)は32ビット版と64ビット版があります。お勧めは64ビット版です。

(※3) SQLServerも32ビット版と64ビット版があります。お勧めは64ビット版です。

(※4) SQLServer2016は2026年7月でサポートが終了しました。サポートが終了した製品での動作確認は行っておりません。ご了承願います。

(※5) Access2016/Access2019は2025年10月にサポートが終了しました。(同上)

(※6) Office2021以降のOffice製品が入ったコンピュータにはAccess2016ランタイム版ではなくMicrosoft365Accessランタイムをご利用ください。

(※7) Access製品版とは、Access単体製品、Accessを含むOfficeパッケージ製品、Accessを含むMicrosoft365(サブスク)製品を指します。

お勧めは3番目のAccessを含む「Microsoft365」です。

(※8) SQLServer Standard(製品版)はクライアント台数分のCAL購入が必要になります。(1台:50千円前後)

ここでいうクライアントは、IP進捗端末(iphone・ipad・ipodTouch)やWeb進捗端末(カシオ製ハンディターミナル)なども含む合計のクライアント接続台数です。

(オフライン進捗端末はカウントしません)

参考(SQL・Office-OS組合せ表)・・・WILLバージョン関連なし

		SQL SERVER 製品版/無償版 (※2) (※4)				OFFICE (Access含む) 製品版/ランタイム (※1) (※3)				
		2016 SP2	2017	2019	2022	2016	2019	2021	2024	MicroSoft 365
O S	Win10 Home 32/64ビット	×	×	×	×	○	○	○	○	○
	Win10 Pro 32/64ビット	○(64)	○(64)	○(64)	○(64)	○	○	○	○	○
	Win11 Home 64ビット	×	×	×	×	○	○	○	○	○
	Win11 Pro 64ビット	×	○(64)	○(64)	○(64)	○	○	○	○	○
	WinSvr2016 64ビット	○(64)	○(64)	○(64)	○(64)	○	×	×	×	○
	WinSvr2019 64ビット	○(64)	○(64)	○(64)	○(64)	×	○	○	×	○
	WinSvr2022 64ビット	×	○(64)	○(64)	○(64)	×	○	○	○	○
	WinSvr2025 64ビット	×	×	○(64)	○(64)	×	○	○	○	○

☐ 既にサポート終了

☐ 26年10月サポート終了予定

☐ 27年1月サポート終了予定

(※1) Access製品版の購入については「Access2024・Microsoft365購入ガイド」参照のこと。

(※2) SQL SERVER製品版の購入については「SQLServer2022購入ガイド(お客様調達)」参照のこと。

(※3) 上記OFFICE(ACCESS含む)-OS組合せ表はマイクロソフト公式「Office および Windows の構成サポート マトリックス」を参照しています。

(※4) 上記SQL SERVER-OS組合せ表はマイクロソフト公式「Windows オペレーティング システムでの SQL Server のバージョン要件」を参照しています。

(※5) 下記サポート終了済情報です。

- ・SQLServer2016は2026年7月にサポートが終了しました。
- ・Office2016/2019(Accessを含む)は2025年10月にサポートが終了しました。
- ・Win10は2025年10月にサポートが終了しました。
- ・WinSvr2012およびWinSvr2012R2は2023年10月にサポートが終了しました。